

南部地域



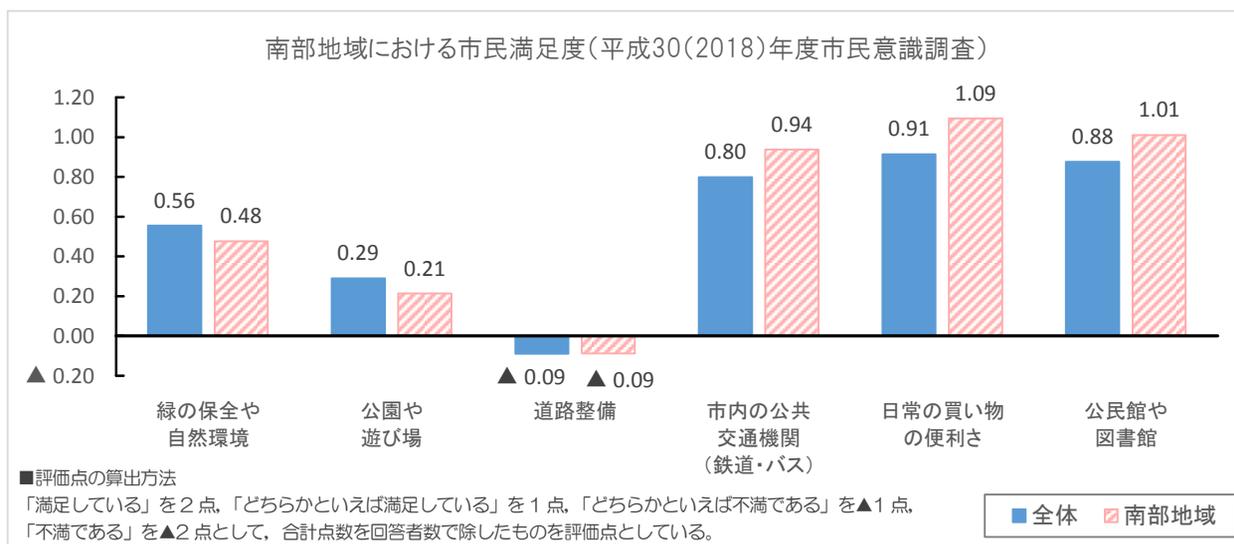
南部地域のデータ



地域範囲	小島町1～3丁目，布田1～6丁目 国領町1～8丁目，染地1～3丁目 多摩川3～7丁目，調布ヶ丘1～2丁目 八雲台1～2丁目
地域人口	84,218人（平成31（2019）年1月1日現在）
地域世帯	44,126世帯（平成31（2019）年1月1日現在）

南部地域の現状と課題

- 南部地域は、京王線調布駅を含む4駅が中心市街地を形成しています。公共公益施設や商業・業務施設など、まちの主要な都市機能が集積している地域でもあります。
- 平成24（2012）年8月、京王線連続立体交差事業によって、京王線の柴崎駅～西調布駅間の約2.8kmの区間と、調布駅～京王多摩川駅間の約0.9kmの区間の地下化が実現したことにより、道路交通の円滑化や歩行者・自転車の安全性の向上、鉄道により分断されていた市街地の南北一体化など、様々な面で市の都市構造が大きな変貌を遂げました。また、調布駅周辺では、平成29（2017）年9月にシネマコンプレックスを含む3館の複合商業施設「トリエ京王調布」がオープンし、市内外から多くの方が調布のまちを訪れ、新たなにぎわいが創出されています。
- 調布駅周辺地区については、魅力ある中心市街地の形成に向けて、調布駅南口中央地区において商業・業務地区にふさわしい土地の有効・高度利用と都市機能の更新を図るため、住民発意のまちづくりの検討が進められています。また、調布銀座地区においては、建物更新や共同化の意向を受けたまちづくりが進められています。
- 市民意識調査では、「交通機関」、「日常の買物の利便さ」、「公民館や図書館」に対する満足度が高く、生活面での利便性の良さが評価されています。



南部地域におけるまちづくりの方向

◆魅力ある中心市街地の形成

商業・業務機能や生活機能がバランスよく整えられた良好な市街地の形成を図るため、土地の有効・高度利用と公園や道路等の整備に向けて、地区計画制度の活用や、市街地再開発事業、土地区画整理事業などの面的整備手法を活用したまちづくりを進めます。

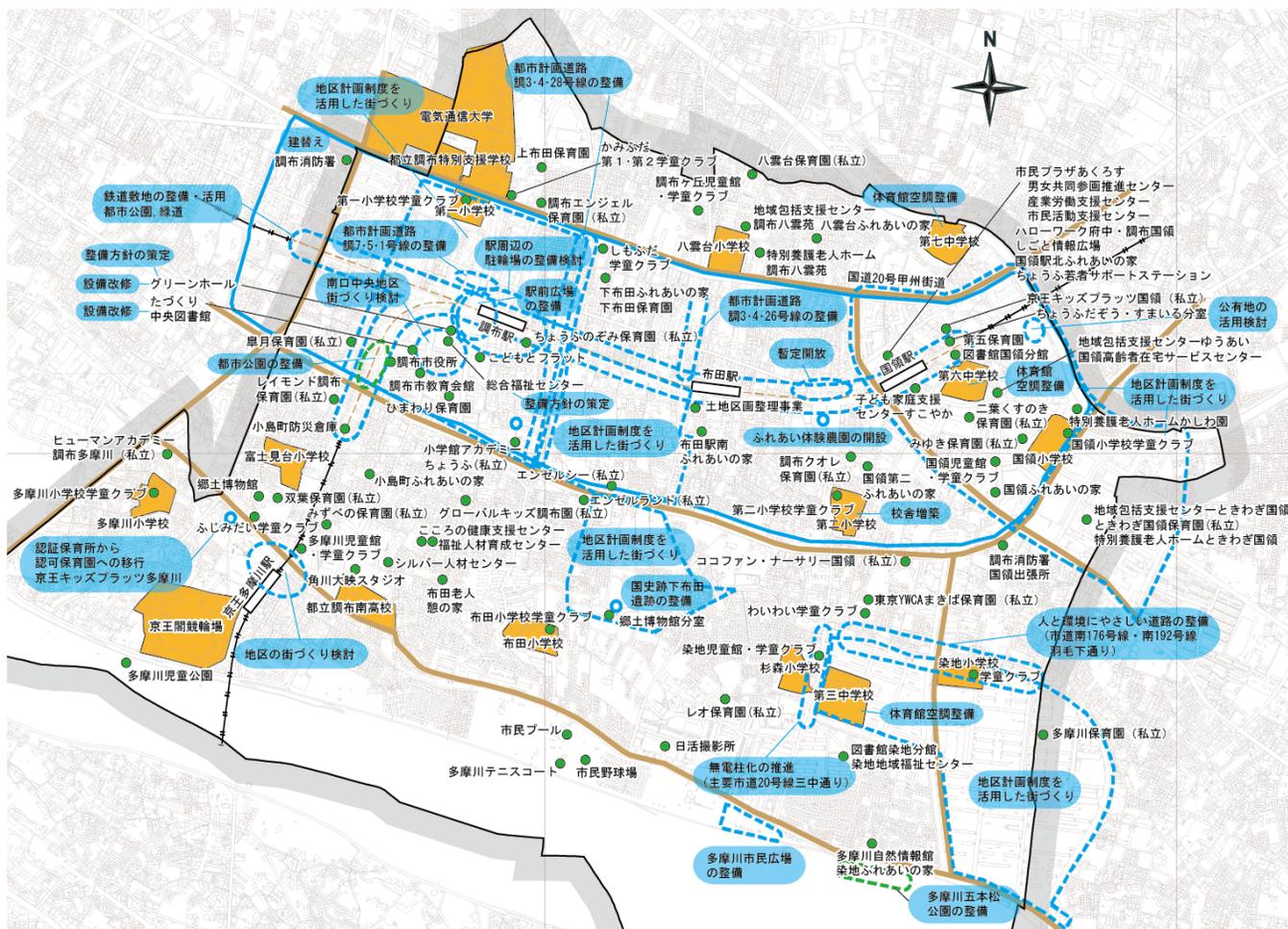
◆魅力的な駅前広場の整備と鉄道敷地の活用による都市空間の創出

交通結節点としての機能の充実を図るとともに、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎを生み出す都市空間として、交流機能や景観形成機能を兼ね備えた駅前広場の整備を進めます。また、調布・布田・国領3駅の駅前広場と各駅をつなぐ鉄道敷地の連続した空間を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として整備を進めます。

◆地区計画制度の活用

一団地の住宅施設*の都市計画を廃止し地区計画に移行した多摩川住宅は、引き続き地域住民とまちづくりの目標を共有しながら、多世代が安心して住み続けられる良質な住宅ストックへの更新を段階的に誘導するとともに、生活支援機能や多世代福祉機能の誘導による地域の生活利便の向上と賑わいの創出を図ります。

※一団地の住宅…施設良好な居住環境を有する住宅及びその居住者の生活の利便の増進のため、必要な施設を一団の土地に集団的に建設することにより、都市における適切な居住環境の確保及び都市機能の増進を図ることを目的に都市計画で位置付けられた住宅



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号) 30都市基交審第249号、30都市基交測第100号